

作成日	2019年7月9日
学科・専攻名	生活環境学専攻

教育課程・学習成果

1. 教育課程編成・実施の方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。

【現状説明】

教育課程編成・実施の方針の下、学士課程での学修を基礎として、高度な専門性を身につけることのできる教育課程を体系的に編成している。特に科目選択の柔軟性を確保するために、食物学、栄養学、アパレル造形学、空間造形学や生活文化学といった専門科目を開講しており、講義を中心としたコースワークだけでなく、演習や実験、研究指導、修士・博士論文の指導を通したリサーチワークにより、高度な知識と研究手法を体得しうる教育課程を体系的に編成している。

【成果および向上施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし

【課題および改善施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし

2. 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための措置を講じていますか。

【現状説明】

シラバスに授業の到達目標、授業の概要、授業計画、評価方法、授業時間外の学習、学生へのメッセージ、教科書・参考書の明示、京女 AL 区分などを明記し、学生が主体的に学習するように設定している。またコースワークとして、講義科目、演習科目、実験科目を設置しており、大学院生はこれらの履修を通じて、修了に必要な単位を修得している。また、論文作成にあたっては個別指導を行い、博士論文中間報告会や学会・研究会での発表を通して、リサーチワークによる指導を行っている。なお、大学院生はティーチングアシスタントとして、授業の準備や後輩の指導補助を行うことで自らの学修到達度の確認と指導スキルの向上を図る制度があり、効果を上げているところである

【成果および向上施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

学生は該当する国内外の学会で発表を行っている。

【課題および改善施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

国内外の学会で発表する経済的支援体制の構築

3. 学生の学修成果を把握し、教育課程及びその内容、方法の適切性についての点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに教育の質向上に向けた取り組みを行っていますか。

【現状説明】

教育課程及びその内容、方法の適切性については、大学院生アンケート等の結果から検証している。毎年度、次年度の時間割を作成する作業の際に、各科目の受講者数の確認、カリキュラムの妥当性、担当者の選定などを検証している。

【成果および向上施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし

【課題および改善施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし

教員・教員組織、FD**1. 教員組織の編成(募集・採用・昇任等)にあたって、職位構成および年齢構成の偏りに配慮した編成をおこなっていますか。また、カリキュラムに基づく教員組織となっていますか。****【現状説明】**

教員組織の編成は、学部所属も前提に募集しているが、授業や研究指導の経験を踏まえて大学院での授業担当者・指導教員としての審査も行うことで、カリキュラムに則した、よりふさわしい専門家としての教員組織を編成している。教員組織のバランスについては、博士後期課程の指導教員の資格の関係から 60～70 歳代が大半であり、教授の比率が 100% である。やや偏りがあるため、今後 50 歳代の採用を目指す。

【成果および向上施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし

【課題および改善施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし

2. 学科・専攻独自の FD 活動を実施し、教員の資質向上に取り組んでいますか。**【現状説明】**

博士論文の中間発表会、最終発表会が教員にとっての FD の機会にもなっている。教育活動（授業の分かりやすさ、履修指導等）に対する学生の満足度については、大学院生アンケートを基に、研究科委員会で検証している。

【成果および向上施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし

【課題および改善施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし

内部評価委員会からの評価結果（内部評価結果レポート）**一般的なコメント（総評）**

適切な点検評価が行われています。課題の設定も適切です。認証評価の指摘事項に関連して、2019 年度から全研究科に共通する基本的な指導計画が大学院生に明示されていますので、今後記入してください。

改善勧告コメント（具体的な改善の指示）

学位ごと（家政学と学術）の学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針が設定されていないため、今後対応することが求められます。

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見**意見**

- ・ 指導計画については、次年度点検・評価において記載する。
- ・ 学位ごと（家政学と学術）の学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針については、研究科として検討の上、対応することとする。